

City Life NEWS

全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか?身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。



シティライフNEWS
で検索



「明るい気分になる」おしゃれなタオルで 大量廃棄される糸を削減

タオル工場で廃棄する糸を利用したタオル「nokori-ito(のこり-いと)」で、SDGs達成を目指す吹田市の神野織物株式会社。今年5月末に行ったクラウドファンディングでは、目標金額の5倍以上を達成し、多くの人の関心を集めました。このプロジェクトを機に、同社と取引のある日本最大のタオル産地・愛媛県今治市の工場では、残糸が確実に減少しているという。nokori-ito誕生秘話について、同社代表取締役・神野哲郎さんと専務・辻良岳さんに聞いた。

以前から課題だった 「残糸」問題

同社では、事業の1つとしてイベントなどで使うタオルや手ぬぐいの制作を手掛けている。その際に発生する「残糸」が以前から問題になっていた。「タオル製造時はデザインに関わらず、出来上がるタオルよりも10~20%余分に糸を準備するため必ず余ります。他の商品に使いまわすこともありますが、イベントやコンサート用のタオルは特殊な色であるため、ほぼ使いまわしきれません。そのような残糸は、1工場あたり約5万枚のフェイスタオルの分量になり、多くは1年で焼却処分されるんです」。昨年のコロナ禍によってイベントの中止が相次いだ際、糸をつくったところで生産がストップしたため残糸が一層増えた。

これまで業界では残糸を再利用しようとする動きはあったという。「『残糸タオル』という商品名で昔から流通していますが、あまりいいイメージがないのか、それほど浸透していませんでした」と辻さん。しかし実際は「色を変えるたびに職人が手作業で糸を繋いでいくので、普通のタオルより手間がかかります。また残った糸というだけで、品質は普通のタオルと同じなんです」という。

クラウドファンディングで イメージを覆す

以前からSDGsの取り組みを進めてきた同社は、「残糸の削減がSDGs貢献に繋がる」と、今治のタオル工場と連携して「残糸削減プロジェクト」を開始。一般消費者の関心度も高いクラウドファンディングを利用してことで、残糸タオルのイメージを覆したいと考えた。残糸を「残糸」と柔らかい言い回しに変え、長く使ってもらえるように、最新技術を用いた抗菌・抗ウイルス加工や、干しやすさ、速乾性に耐久性などを考慮。今治タオルということで品質にも自信を持つ。支援の一部を子どもの貧困対策を実施している基金に寄付し、以前から継続している就労支援施設への作業依頼も決めた。予想を上回る結果となったクラウドファンディングでは、「カラフルなので見ているだけ明るい気分になる」「タオルの中からついこれを取る」などの感想が寄せられ、主婦層など女性から多くの支持を得た。クラウ

PROFILE

神野織物株式会社

吹田市片山町4-33-40
オリジナルタオルや手ぬぐいの製作などを手掛ける織物問屋。創業120年。イベントやコンサートなどのグッズ、百貨店などに卸す商品も製作。



nokori-itoのミニバスタオルを手にする神野社長(左)と辻さん。干しやすいサイズが自慢。



「つくる責任
つかう責任」



「気候変動に
具体的な対策を」



「働きがいも経済成長も」

就労支援施設に商品の梱包や加工を依頼。

ドファンディングの話は今治の新聞でも取り上げられた。「ほかの工場でも『残糸を利用しよう』と考えてくれるといいですね」と神野さんは話す。

来夏に向けて 新商品を開発中

現在、新たなSDGs貢献として、夏の熱中症対策などのため冷やして使う「クールタオル」の商品開発を進めている。「クールタオルはナイロンが主流ですが、うちでは“手ぬぐい”で挑戦します。天然素材で作れば、より環境に優しいものができると思います」。綿と和紙に使う繊維を使い、環境に優しいだけでなく、天然ならではの通気性や肌触りなど機能面でも効果を期待できるという。今年中に完成させ、来夏までの販売を目指している。



「手洗い用ミニタオル」は消費者の意見を取り入れ、コンパクトな縦長サイズに。明るい色合いはSDGsのロゴにも似ている?ミニバスタオルと共に8月からウェブショップなどで一般発売。



SDGsとは「持続可能な開発目標」のこと。2015年の国連サミットで採択された。2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標だ。地球上で「誰一人取り残さない」社会を実現するため、17の目標と169のターゲットを設定している。

箕面商工会議所

【第18回 みのおのまち商学校】 好評開催中!!

今回は「全国一斉まちゼミ」に参加します!全国一斉に「まちゼミ」を実施する事で、地域の皆さんに喜んでいただき、元気な個店と地域を取り戻します!全国129地域が参加しています。

- 開催期間:9月30日(木)まで
- 申込方法:各店舗へ直接予約 ※受付開始時間は各店舗による
- チラシ:箕面商工会議所、参加店店頭、市関連施設、池田泉州銀行
- ※箕面商工会議所HPからもご覧いただけます。

<問合せ>
(箕面商工会議所 まちゼミ担当)
TEL 072-721-1300
<http://www.minohcci.or.jp>



吹田商工会議所

稼ぐまちが地域を変える! ~古い 価値観をアップデートせよ!~

吹田市においても現在、コロナによる地域経済の疲弊や少子化等の課題に直面していますが、真に持続的な地域を再生するために、行政や民間が果たすべき役割は何か。地方創生・まちづくりのトッププランナー木下氏の豊富な実践経験と最新統計に基づく、貴重な「地域経済再生の鉄則」が聴けるオンライン講演会です。

- 【日時】9月4日(土)14時半~16時
- 【方法】ZOOM※オンラインのみ
- 【料金】無料
- 【定員】300名 ※定員になり次第締め切り。
- 【申込】吹田商工会議所HP
もしくはQRコードからお申込下さい。

吹田商工会議所 青年部 事務局
TEL 06-6330-8001



豊中商工会議所

備えあれば憂いなし!テレワーク 制度設計5つのポイント (9/22)

コロナ禍で活用する企業が増えたテレワーク。実際の運用にお困りの方も多いかと思います。今回のセミナーでは、自社でのテレワーク導入経験もある社会保険労務士に、制度設計から実際の運用に当たっての注意点まで、自らの経験に基づいて、経営者側からみたメリット・デメリットをお話しいただきます。

- 【日時】9月22日(水)14時~16時
- 【会場】豊中商工会議所会議室
(豊中市岡町北1-1-2)
- 【講師】社会保険労務士法人
岡本&パートナーズ 共同代表 山本 美紀 氏
- 【参加費】会員1,000円、一般2,000円
- 【問合せ・申込み】
豊中商工会議所 中小企業相談所
TEL06-6845-8004
セミナーお申込みQRコード
- QR code forセミナーお申込みQRコード.

商工会 商工会議所 通信

SYOUKOUKAI SYOUKOUKAIGISYOU
TSUSHIN

商工会・商工会議所は地域企業の振興や地域の活性化に日夜努力しています。でも具体的にどんな活動をしているのか知らないという人も少なくないのでは?そんな商工会・商工会議所の活動を今月も紹介します!